

PROLOGUE

木二中 学校だより No.08 令和6年5月27日
校長 山元 竜二

木更津市立木更津第二中学校
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233

E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp
https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j



「自分には関係ない」は通用するのか？「無関心」という名の凶器

校長先生としてのお仕事の合間に各学年各クラスの授業を廊下から眺めています。さすがに毎時間というわけにはいきませんが、できる限り全学年全クラスを見て回るよう努めています。

ある学年、あるクラスでの朝の会。教室に入り、後ろから眺めていました。生徒の健康観察から始まり、一日の予定、担任の先生からの連絡・指導と朝の日常が流れていきます。すると私の目から見ていくつかの違和感が…。担任の先生がお話ししているのに読書を続けている生徒。前後左右の席でおしゃべりが止まらない生徒。独り言？誰に言っているの？と思うほど大きな声でリアクションをする生徒。淡々と冷めた目で先生の話の聞いているだけの生徒…。うーん、クラスとしてどうなんだろう？と…。

朝の会に違うことをしていたり、おしゃべりしている生徒たちが悪いと言っているわけではありません。担任教師としての力量不足だって大きな要因の一つでもあります。授業中に居眠りをしていて叱られたなんていう話は「学校あるある」かもしれませんが、私に言わせれば、生徒が居眠りしちゃうような魅力のない授業だったんじゃないの？です。どんなに眠くても、授業力・学級経営能力のある先生の授業は、よくわかるだけじゃなくて、面白いし、楽しいし、あっという間に時間が過ぎてしまうもの。普段は和やかな雰囲気クラスでも、担任教師の声色一つで「おっ。何か大事な話をするぞ。」と自然に生徒全員が背筋を伸ばすなんて、担任と生徒が素敵な信頼関係で結ばれている証だと私は思います。クラスの一人が姿勢を正すために椅子を「カタカタッ」と直す音が、「おい、みんな、ちゃんと話を聞かど。」の合図であるかのように…。

あるクラスの朝の会を眺めていた私に、いくばくかの恐怖心が芽生えました。それは、「無関心でいる」、「無関心でいられる」ことへの恐怖です。

生徒総会の時、私がみんなに「アタッチメント理論」についてお話したことを覚えていますか？アタッチメント理論とは、コトバンクによると「主に幼少期における養育者(保護者)などの関係性、ことにアタッチメント(愛着)が人間の生涯にわたるパーソナリティや社会的適応性などにいかに影響を及ぼすかを問う発達理論」のこと。(ちょっと難しいかな？)要は、人はまずはじめに養育者(保護者)が自分の「安全基地」であることを認識し、発達・成長と共に仲間や先生、パートナーが「安全基地」になっていくのだそう。生涯にわたって「安全基地」が多ければ多い人ほど、視野が外界へと向かい、困難に見舞われたとしても果敢に挑戦し続けようとする性質を獲得していくとのこと。(これはほんの一例)

クラスにいるのにクラスのことに関心でいること、無関心でいられること、「自分には関係ない。」は、教室がその生徒にとって心が落ち着く「安全基地」にはなっていないと言えるし、実はそれが将来的にとてつもない大問題への入り口にもなってしまふことがあるのです。それは、「無関心」が「傍観」、「傍観者」を生んでしまうということです。ただそばで見ているだけじゃなくて、その物事に関係のない立場で見ていることを「傍観」、そのような人を「傍観者」と言いますが、中学生であれば「傍観者」という言葉を聞いたことがあるでしょう。私が言う恐怖とは、教室の中で無関心でいることが、「いじめを見て見ぬふりをする傍観者」になり得るということです。兵庫県小野市教育委員会のHPに以下のような「いじめの傍観者」に関する資料がありました。

「傍観」=ぼうかん 「傍観者」=ぼうかんしゃ

【観衆・傍観者への対応策（観衆・傍観者も加害者と同じ）】

傍観者（いじめを支持する存在）—葛藤する子どもたち—

- 正義感はあるが、いじめへの抑止力はない。／「次は自分がいじめられる」などの葛藤がある。

観衆（いじめを強化する存在）—はやし立てる子どもたち—

- 報復が怖い。／仲間はずれにされるのが怖い。／いじめが面白い。／被害者への不快感をもつ等の理由でいじめの加勢集団になっている。

傍観者（いじめを支持する存在）—無関心な子どもたち—

- 人間関係や人とのかわりに無関心で自分の関心をもつものにしか気が向かない。／周りでどんなひどいことが行われても、我関せず勝手なことをする。

「観衆」(いじめを強化する存在)ーはやし立てる子どもたちーの項の「いじめが面白い」や「被害者への不快感」という理由、これはもう論外。人としてどうなのか？が疑われる理由だし、物理的にいじめに加担してなくても明らかに加勢、むしろ自分の手を汚さず陰からいじめに加わる方が…、ですね。

「傍観者」(いじめを支持する存在)ー葛藤する子どもたちーでは、「次は自分がいじめられるかもしれない」という理由から、やむを得ず「傍観者」となってしまう葛藤が記されていて、そして「傍観者」(いじめを支持する存在)ー無関心な子どもたちーでは、私を感じた「恐怖」そのものが記されていました。

「傍観者」が「悪い」と言っているわけではありません。小野市教育委員会の資料にも「観衆・傍観者も加害者と同じ」とは書いてあるけど、「傍観者も悪い」とは書いてありません。実際に加害者、被害者がはっきりしているいじめ案件では、その責任が問われるのは当然加害者であって、同じクラスに所属していたその他多くの傍観者であるクラスメイトも責任が問われる、なんてことはごく稀なことになるでしょう。

中学生のみんなに「傍観者は悪いのか？悪くないのか？」ということをやっているのではありません。「言葉一つで人の心を蘇らせ、生きる勇気を与えることも、言葉一つで人の心を刃のごとく切り裂き、生きる力を奪い取ってしまうこともある。」ように(INSIDE OUT No. 03より)、「無関心」も人の生きる力を奪い取る「凶器」になり得ることがあるということを知っていてほしい。そのことを知っていれば、自分自身が「無関心でいること」、「無関心でいられること」は絶対にできなくなるはずなんです。なぜならいじめは、誰が、いつ、どんな状況で、どんな理由で、その対象になるか分からないからです。誰にでも、起こり得ることだからです。

いじめを見て何もしなかったら、いじめを黙認しているのと同じ。自分自身が手を下して積極的にいじめていなくても、自分の身の回りで起こっているいじめを黙認する事でいじめを支持するという間違ったサインを出すことになる。それをみんなには知っていてほしい。

自分がいじめの対象になったとき、周囲がみんな無関心で、誰にも助けてもらえなかったらどうだろう？そのように想像力をはたらかせて考えることができれば、無関心でいられなくなるはずではないのか。

いじめられた経験がある人は、いじめを一生忘れることはできません。自分をいじめた人はもちろん、自分を助けてくれなかった周囲の無関心だった人たちのことも同様に、一生、絶対に忘れることはできません。傍観者も、自分には関係ないといじめに無関心でいたこと、いじめを黙認してしまったことを「助けてあげられなかった」と心にとげが刺さったまま一生忘れることができずに生きていかなければならなくなるということも知っていてほしい。

「愛」の反対は「憎しみ」ではありません。「思いやり」の反対は「無神経」ではありません。「愛」や「思いやり」の反対は、「無関心」なんです。

アタッチメント理論では、「人はまずはじめに養育者(保護者)が自分の安全基地であることを認識する。」と記しました。養育者からの無償の愛情を受けて育った子どもは、養育者からの温もりに包まれる度に「ここが自分の居場所だ！」と心から感じるのだそうです。自分の周りがどんなに冷たくても、ここに来れば安心感で満たされる。そのように育った子どもは、いつもニコニコと笑顔が多く、「自分はこの世に必要とされている存在」と自分に自信が持てるようになり、どんな困難にも立ち向かうことのできる強さを身につけていくと言われています。そして何より、深い愛情を受けた子どもは、(視野が外界に向くことで)その愛を他者にも伝えたくなる、つまり、周囲の友だちと仲良くできるようになる。成長と共に養育者から友だち、先生、学校、会社、彼氏や彼女、人生の伴侶、と安全基地が増えていく。

自分が所属するクラスが、仲間からの無償の愛で包まれた安全基地だとしたら、友だちのことや教室で起こることだけでなく、何も起こらない教室の日常にも無関心ではいられなくなるのだと私は思います。

リーダーたち、そして3年生の皆さんへ

今週6月1日(土)は令和6年度体育祭。ちょっと天気が心配だけど、責任者や応援団長をはじめ、リーダーたち、そして3年生の皆さん、体育祭練習期間が始まってから今まで本当にお疲れさまでした。思い通りにいかないことやうまくいかないことにもどかしさや悔しさもあったことでしょう。そんな中でも無情に時は流れていくもの。でもいい経験になっているはずです。以前、こんな言葉をいただいたことがあります。「未来のお前を助ける人、それは他の誰でもない、今のお前だよ。」

体育祭当日は、全校生徒はもちろん、先生方、保護者・地域の皆さん、みーんなまとめて笑顔の渦に巻き込んでしましましょう！3年生の皆さんにはそんな力があると思っています。

美化作業ありがとうございました！

5月25日土曜日に行われました美化作業に休日にもかかわらずPTA役員の皆さま、おやじ会の皆さまをはじめ、数多くの保護者の皆さまにご尽力いただき、誠にありがとうございました。皆さまのおかげで6月1日の体育祭は、きれいな環境で開催することができます。

今後も関係者の皆さまの変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。